

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成29年4月13日 (2017.4.13)

【公開番号】特開2016-142564(P2016-142564A)

【公開日】平成28年8月8日 (2016.8.8)

【年通号数】公開・登録公報2016-047

【出願番号】特願2015-16711(P2015-16711)

【国際特許分類】

G 0 1 N 35/00 (2006.01)

G 0 1 N 1/10 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 35/00 A

G 0 1 N 1/10 H

G 0 1 N 35/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月7日 (2017.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

容器の中心軸を回転軸として該容器を回転させて、該容器内に注入された検体を遠心分離する遠心分離部と、

該遠心分離部によって遠心分離された前記容器内の検体成分を計測する計測部と、

前記遠心分離中の前記検体の気化に起因する濃度変化に基づく補正演算処理を前記計測結果に施す補正部とを備えることを特徴とする計測装置。

【請求項 2】

前記計測部が、前記遠心分離部以外の外部の遠心分離装置によって遠心分離された検体成分も計測し、

前記補正部が、前記外部の遠心分離装置によって遠心分離された検体成分の前記計測結果には前記補正演算処理を施さない、または前記遠心分離部によって遠心分離された検体成分の前記計測結果に対する前記補正演算処理の際に用いた演算パラメータとは異なる演算パラメータを用いて、前記外部の遠心分離装置によって遠心分離された検体の前記計測結果に対して前記補正演算処理を施す請求項 1 記載の計測装置。

【請求項 3】

気圧情報を取得する気圧情報取得部を備え、

前記補正部が、前記気圧情報に基づく前記補正演算処理を前記計測結果に施す請求項 1 または 2 記載の計測装置。

【請求項 4】

環境温度情報を取得する温度情報取得部を備え、

前記補正部が、前記環境温度情報に基づく前記補正演算処理を前記計測結果に施す請求項 1 から 3 いずれか 1 項記載の計測装置。

【請求項 5】

環境湿度情報を取得する湿度情報取得部を備え、

前記補正部が、前記環境湿度情報に基づく前記補正演算処理を前記計測結果に施す請求項 1 から 4 いずれか 1 項記載の計測装置。

【請求項 6】

前記遠心分離の時間の情報を取得する時間情報取得部を備え、

前記補正部が、前記遠心分離の時間の情報に基づく前記補正演算処理を前記計測結果に施す請求項 1 から 5 いずれか 1 項記載の計測装置。

【請求項 7】

前記遠心分離された検体成分の量の情報を取得する検体量情報取得部を備え、

前記補正部が、前記検体成分の量の情報に基づく前記補正演算処理を前記計測結果に施す請求項 1 から 6 いずれか 1 項記載の計測装置。

【請求項 8】

前記検体量情報取得部が、前記検体が血液である場合、該血液のヘマトクリット値の情報を取得し、該ヘマトクリット値の情報に基づいて血漿成分の量の情報を前記検体成分の量の情報として取得する請求項 7 記載の計測装置。

【請求項 9】

気圧情報、環境温度情報、環境湿度情報、前記遠心分離の時間の情報および前記検体の量の情報を取得する情報取得部を備え、

前記補正部が、気圧情報、環境温度情報、環境湿度情報、前記遠心分離の時間の情報および前記検体の量の情報に基づく前記補正演算処理を前記計測結果に施す請求項 1 記載の計測装置。

【請求項 10】

前記計測部が、前記遠心分離された検体に含まれる気体成分を計測するものであり、

前記補正部が、前記遠心分離によって気化した前記気体成分の量に基づく前記補正演算処理を前記計測結果に施す請求項 1 から 9 いずれか 1 項記載の計測装置。

【請求項 11】

前記計測の対象の検体が注入された容器の情報を取得する容器情報取得部を備え、

前記補正部が、前記容器の情報に基づく前記補正演算処理を前記計測結果に施す請求項 1 から 10 いずれか 1 項記載の計測装置。

【請求項 12】

前記補正部が、複数の前記容器の情報に対応する前記 補正演算処理 の演算パラメータを記憶する請求項 11 記載の計測装置。